

目次

口絵

発刊にあたって

周西マップクラブ会長

元岡陸視

お祝いのごとば

周西公民館長

古関正博

凡例

第一章

地名

地名について……………1

第一節 人見……………3

第二節 大和田……………21

第三節 坂田……………33

第二章

名勝・古墳・遺跡

第一節 名勝……………66

第二節 古墳・遺跡……………71

第三章

遺産

第一節 現存遺産……………75

第二節 消滅遺産……………84

第四章

由来・信仰・講

第五章

祭礼・行事

第一節 神社由来……………90

第二節 寺院由来……………96

第三節 民間信仰……………100

第四節 各種講……………103

第一節 神社……………111

第二節 寺院……………125

第三節 地域行事……………131

第四節 家庭の行事……………133

第六章

地域の変遷

第一節 企業進出前の周西……………140

第二節 八幡製鐵の進出……………141

第三節 君津製鐵所の建設……………142

第四節 都市づくり……………144

第五節 転業・転入時の記憶……………148

第七章

災害

第一節 明治の災害……………153

第二節 大正の災害……………156

<p>第二章</p> <p>第一節 金石文</p> <p>人見地区……………207</p>	<p>第一〇章</p> <p>傳承</p> <p>第一節 歴史散歩……………186</p> <p>第二節 口伝……………188</p> <p>第三節 昔ばなし……………197</p>	<p>第九章</p> <p>交通</p> <p>第一節 水運……………175</p> <p>第二節 道路……………177</p> <p>第三節 橋梁……………179</p> <p>第四節 公共輸送……………185</p>	<p>第八章</p> <p>施設</p> <p>第一節 教育……………162</p> <p>第二節 役所……………167</p> <p>第三節 その他施設……………169</p>	<p>第三節 昭和の災害……………158</p> <p>第四節 平成の災害……………161</p>
--	--	---	--	---

<p>資料編</p> <p>一、屋号・箱印・舟印……………284</p> <p>二、写真で振り返る「周西地域五〇年の変遷」 写真でたどる「市街地の移り変わり」……………288</p> <p>三、年表……………290</p> <p>四、社寺・民間行事一覧……………306</p> <p>五、メッシュ番号図……………307</p> <p>六、参考文献・協力者……………308</p> <p>七、感想文・編集後記……………310</p> <p>裏表紙……………</p>	<p>第二節 神門地区……………227</p> <p>第三節 大和田地区……………234</p> <p>第四節 坂田西地区……………238</p> <p>第五節 坂田東地区……………267</p> <p>一、引用資料・補足説明……………270</p> <p>二、周西地域石造文化財一覧……………276</p> <p>三、周西地域石造文化財地図……………279</p>
--	---

凡例

- * 周西地域誌は周西公民館地域（人見・大和田・坂田・君津台）を対象とし、第一章と第二章と資料編で構成した。
- * 八幡製鐵株の名称については、合併により社名が変更されたため適宜、「新日鐵君津」、「新日鐵住金」を使用した。
- * 本書の記述はつとめて常用漢字・現代仮名遣いを用いたが、専門用語、人名、地名並びに難解な文字には適宜（ ）でフリガナを付け、人名は原則として敬称を略した。
- * 年号は和暦を用い、明治時代まで西暦を（ ）書きした。
- * 本文中の地名・字名は、土地法典（昭和一〇年東京湾要塞司令部地乙第三四號許可濟）を参考にし、地番・メッシュ番号の表記については算用数字を用いた。
- * 地名の大字人見字鳥居戸・字向福田・字川向・字下新川田・字上新川田の地番は、土地法典「人見耕地整理地区内図」による。
- * アラビア数字を除く数字表記の多くは、「年」↓「明治四〇年」。「人」↓「二〇九人」とした。また、桁数が多いものは両表記を用い表した所もある。ただし、数値のあとに熟語的に続くものは、「周年」↓「八十周年」。「年代」↓「昭和四十年代」等とした。
- * 職業、職種の呼称など歴史的用語は、原則として記述されているその時代性を尊重する意味から、できるだけ原文に忠実に表したため、本文の表記法と異なるところがある。
- * 引用史料は、原則として読み下し、または意識し、適宜句読点、並列点を付け、短い場合は本文中に「」で示した。
- * 出典は、適宜本文中に（ ）書きとし、書籍名・雑誌名は『』、史料名・論文は「」で示した。元の文の文字に誤りと思われる箇所があっても原文通りとし（ママ）と記述した。しかし、個人の氏名のように動かしがたく、原文にあきらかな誤りがあると認められる場合は訂正し、特に注記はしていない。
- * はつきりさせたい語句・強調したい語句・名称・会話・思い・発想などについては「」、” ”でくくった。
- * 本書の執筆にあたっては、多数の研究書、各縣市町村史（誌）類などによったが、その出展を示さないものもある。『君津市史』の各刊名（通史・近世）などは、個別に刊名を示さず『君津市史』とした。また、『君津郡誌・町誌』もこれに準じた。
- * 度量衡については、資料中に使用されている当時のままを用い、現代の単位を（ ）でしめした部分もある。
- * 使用した画像の提供者名、保有者、施設等については、わかる範囲で表記したが、本会員が所有するか、出所不明の画像は「周西マップクラブ」で表記した。
- * 年表の場所表記は、支障のない範囲で字名あるいは現在地名を使用することにした。